

次世代を担うSC経営者層の育成を目指す  
SC業界唯一のビジネススクール

# SC ACADEMY

SCアカデミー

## 第11期生募集案内

2017年4月～2018年3月

### ◆受講のおすすめ

当協会は、1973年に設立以来、業界の人材育成に重点を置き、現在までセミナー、海外研修、通信教育などの各種プログラムを実施し、SC業界の人材育成に寄与して参りました。

2007年に次世代のSC経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただくためのプログラム「SCアカデミー」を創設し、これまでに332名が卒業されました。

現在10期生48名が在学中ですが、このほど第11期生の募集を行うことになりました。

つきましては、貴社の次世代を担う人材の教育機関として、本SCアカデミーを活用していただけますようご案内申し上げます。

### ◆目的と特色

1. 次世代を担うSC経営者層の養成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただきます。
3. ワンウェイでなく、“考える力”をつける授業です。また、講師は各コースの指導教授の他に、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
4. 長期のプログラムですので、受講生相互の情報交換やネットワークづくりに役立ちます。



一般社団法人  
日本ショッピングセンター協会

## ●SC序論（合宿研修）

## Curriculum

指導教授／小嶋 彰 (株)船場 顧問・(株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課　　目	内　容　と　目　的
4/13 (木)	1	合宿スタートにあたって	● 合宿研修の目的 ● SC創世期にて中心となった人々の考え方 ● SCのビジネスモデルの基本。日米比較
	2	特別講義「転換期にたつた世界、および日本の経済をどう読み解くか？」	● 中長期視点に立った国際経済、社会の推移と日本のポジショニング ● 日本経済、社会の目指すべき方向
	3	ソーシャルプラットフォームを構想する知力	社会的变化(ソーシャルシフト)を創造するSCは、SP(ソーシャルプラットフォーム)として社会コアの役割を志向する。
	4	環境革命世纪の都市と商業	今世纪の最大の课题「环境」に対し、我々は何をすべきなのか？商业环境やSCを取り巻く様相を歴史的、批评的、包括的に俯瞰しながら、SC未来を展望する。
		SCアカデミーを100倍楽しむ方法	予習の仕方や問題意識の持ち方など、効果的な受講のコツについてお話しします。
		<自己紹介・交流会>	
4/14 (金)	5	SCの将来ポテンシャル	● SCを取り巻く环境の变化と课题 ● SCの必要性と役割 ● SCの将来性／成长性
	6	経済社会における小売商業の役割	● 国土のグランドデザイン 2050年計画と商業の役割 ● オリンピックに向けて商業施設の役割と準備(インバウンド顧客への対応戦略を含む) ● 地方経済活性化の主軸としての商业活動
	7	グループディスカッション	次世代SCのヴィジョンと具体的戦略
		総 括	

## ●SC総論I

## Curriculum

指導教授／望月 照彦 構想博物館 館主

日程	単元	課　　目	内　容　と　目　的
4/21 (金)	1	「女時(めどき)時代のSCを考察する」 — 女性が創る世界観 —	SCは、巨大な生活劇場である。その生活劇場の主役は誰か。これまで見落としていた柔らかな視点でのまち(SC)づくりとは。
4/28 (金)	2	「社会を進化させる商空間(カフェ)デザイン」 — 時間、空間、人間(じんかん) —	商空間の存在しない都市は、人間都市ではない、そのヒューマニズム都市の基盤となる商空間デザイン論にアプローチする。
5/12 (金)	3	「アメリカ西海岸の“リトル東京”にSC“ビック東京”を構築する」 — 文化共生の時代 —	SC発祥のアメリカの西海岸ロサンゼルスに、日本文化複合体としてのSCを創り、競争から共創の時代のシンボルに挑戦。
5/19 (金)	4	「小豆島からの世界企業構想とは」 — アイランド産業の市場創造戦略 —	人口3万人の小豆島からも、世界を市場とする企業の挑戦は、不可能ではない。小さな企業の大きな志を起点とした構想とは。
5/26 (金)	5	「極限の小店舗に人間宇宙を創出する」 — 裏町・横丁・居ぬきこそ都市の資源 —	都市開発が進む現代社会で、人間性の新生・再生の空間創造は可能か。そのトータルコーディネートに挑戦する。
6/2 (金)	6	グループディスカッション SC総論Iのまとめ	デッスカションのテーマ：「事業構想家への道標を築く」 — 事業・社会構想力をいかに鍛え、知力を鍛磨させるか —

## ●SC総論II

## Curriculum

指導教授／彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稻大师学院教授・日本建築家協会会員

日程	単元	課　　目	内　容　と　目　的
6/9 (金)	1	メディア社会、知識社会の中のSC — 流動する社会における商業の存在形態 —	コミュニケーションのあり方、先端技術の展開が人間そのものを変容させようとするなか、SCをめぐる未来価値を考える。
6/16 (金)	2	ランドスケープとSC — 景觀創造、街づくり、エココンシャスとは何か —	ランドスケープ的視点は今後のSC創造に欠かせない。場の創造を景觀からエコまでその原理や指針を展開する。
6/23 (金)	3	タウンマネジメントの現代的位相 — 街とSCの再生、主として海外事例から —	街の再生、活性化としてのタウンマネジメントの概念を、実践事例を中心にその活用、課題などを包括的に考察する。
6/30 (金)	4	SC音環境創造と癒しの空間論 — 環境価値創造の現在 —	音や癒しがこれからの商環境、SCに何をもたらすのかを、その理念展開も含め実践的視点で語る。
7/7 (金)	5	コマーシャルシティ — 集客と滞留の極点を形成する消費空間の実践 —	集客・滞留拠点の資質から、イベントからリゾートに至る消費環境の特性、デザインのもつ意味を、体系的に考察する。
7/14 (金)	6	グループディスカッション SC総論IIのまとめ	デッスカションのテーマ：「SCにおける革新、創造とは何か？」 — 過去を批評的に検証し未来の種をつむぐ —

## ●SC経営実践論

Curriculum

指導教授／矢木 達也 (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課　　目	内　　容　と　目　的
8/25 (金)	1	SC経営戦略とガバナンス	SC経営の質を上げるために必要なガバナンスを学ぶ。 (コンプライアンス/リスクマネジメント/地域とのかかわりなど)
9/1 (金)	2	リート・ファンド視点でのSC経営・SC開発	ファンドビジネスの実際とSCへの取り組み、AM事業とPM事業の相互理解などを学ぶ。 (投資目線、運用手法、アセットマネジメント、開発型ファンドなど)
9/8 (金)	3	SCデザインのグローバルスタンダード	SCデザインの世界潮流と事例を知る。 (メインストリート、コミュニティ空間、複合開発、歴史的建造物再利用など)
9/29 (金)	4	流通の変革とショッピングセンター	イーコマースがもたらす流通構造とリテイラーの変化を知り、SCの役割を考える。
10/6 (金)	5	SCにおける「食」を考える	食物販、飲食店のトレンドと戦略などを学び、SCでの食物販の可能性、飲食ゾーンのあり方を考える。
10/27 (金)	6	小売業の経営革新	成功する小売業と経営革新を学び、小売目線で見たSCのあり方を考える。
11/10 (金)	7	グループディスカッション — SC経営実践論のまとめ —	デッスカションのテーマ：「成熟時代における新たなSCビジネスを考える」

## ●特別演習

Curriculum

指導教授／太田 巳津彦 (株)ワイ・キップコンサルティング 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課　　目	内　　容　と　目　的
7/21 (金)	1	演習Ⅰ 「お客様目線に立つ。購買心理を理解する」	リアル店舗ならではの購買行動「衝動買い」について、顧客目線で考察する。
8/4 (金)	2	演習Ⅱ 「ケーススタディ 戰略を立案する」	事例に基づいて、経営戦略を作成。外部環境の分析、内部資源の評価などを通じて、クロスSWOT分析をし、戦略を立案。
9/22 (金)	3	演習Ⅲ 「元気なまちに学ぶ その1」	元気なまちを訪問し、フィールドワークを行う。その際、関係者へのヒアリング、顧客や店舗の観察調査も行う。(候補地:川越)
10/20 (金)	4	演習Ⅳ 「元気なまちに学ぶ その2」	フィールドワークに基づいて、元気の源を解明するとともに、まちの将来ビジョンを作成し、プレゼンをしていただく。

## ●ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

日程	単元	内　　容
7/28 (金)	1	卒論書き方講座(冒頭45分予定) 各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
9/15 (金)	2	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
10/13 (金)	3	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
11/17 (金)	4	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他

## ◆第11期 SCアカデミー開催要領

**1. 会 場** (-社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)

**2. 期 間** 2017年4月～2018年3月(授業は11月中旬まで実施予定)

**3. 時 間** 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます

**4. 受講料** 432,000円(本体価格400,000円 消費税32,000円)

**5. 対 象** SC協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)

**6. 定 員** 40名以内(定員に達し次第締切とさせていただきます)

### 7. 担当指導教授(敬称略)

●統括指導教授 大甕 聰 (-社)日本ショッピングセンター協会 顧問・SC経営士会 会長 (SC経営士)

●SC序論(合宿研修／7単元) 小嶋 彰 (株)船場 顧問・(株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (SC経営士)

●SC総論I(6単元) 望月 照彦 構想博物館 館主

●SC総論II(6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稻大師学院教授・日本建築家協会会員

●SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)

●特別演習(4単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役社長 (SC経営士)

●ゼミ方式(4単元)

### 8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部／よでん 與田・増木

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F

TEL. 03-5615-8523 FAX. 03-5615-8539 E-mail. scac@jcsc.or.jp

### 9. お申し込み締切日

2017年1月31日(火) ※定員に達し次第、締切とさせていただきます。

### 10. 受講申込者及びご担当者様へ

●下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書及び所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)の提出をお願いいたします。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文に基づいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。審査結果は、2月の末にご連絡いたします。協会事務局より受講申込書を提出後に、①のフォーマットのデータをお送りいたします。①、②につきましては、2017年2月8日(水)までに必ずご提出願います。

●本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

-----キリトリ線-----

<FAX:03-5615-8539> 與田・増木 行

2017年4月～2018年3月

## SCアカデミー第11期受講申込書

企業名:

担当者部署:

担当者名:

〒

TEL.

住所:

FAX.

E-mail

@

受講者名	部署・役職	E-mail
(フリガナ)		@
(フリガナ)		@

※振込銀行名:

銀行

店から

銀行(協会指定)へ

月

日振込予定

**個人情報の利用目的について** 当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>